

はだのスポーツビレッジ構想案のパブリック・コメントの実施結果
について

1 意見募集期間

令和5年7月15日（土）から同年8月14日（月）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの7月15日号及び市ホームページ

3 公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) スポーツ推進課（担当課等）における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見等への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
1 はだのスポーツビレッジとは	0					
2 渋沢丘陵一帯のエリア	0					
3 渋沢丘陵一帯の活性化に向けた広域・公民連携コーディネーター	0					
4 「はだのスポーツビレッジ」整備に向けた基本的な考え方	0					
5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	5	1	1	3		
6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	5			4	1	
7 農業振興地域の整備に関する法律上の課題の整理	1		1			
8 はだのスポーツビレッジの事業フレーム	1			1		
その他全般	10	1		4		5
計	22	2	2	12	1	5

※ 意見等への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：構想に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能として、「～地域活性化や賑わいの拠点とする」とあるが、どのようにして地域活性化や地域の賑わいづくりに影響があるのか例示されたい。 (原案では、はだのスポーツビレッジに行って用事が終われば即帰宅、ということしか想定できない。スポーツに関係のない人も呼び込むのであれば、産直や道の駅を合わせた施設とする等の検討も必要ではないか。)	C	戸川公園に本市が整備した「はだの丹沢クライミングパーク」には、年間約2万4千人が訪れ、うち、市外の方が約7割を占めており、スポーツをツールとして、外から人を呼び込み地域活性化につなげる施策は効果的であると考えます。 施設整備後は、渋沢丘陵一帯の魅力をつなぎ、さらなる地域活性化につなげることも視野に入れています。
2	5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	サイクルスポーツの拠点となる機能は何を想定しているのか明示されたい。 (原案では、立ち寄る用事は何も無いように思えるが)	B	レンタサイクルや、近くのMTBコースの活用を視野に入れています。
3	5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	2ページに広域・公民連携による渋沢丘陵一帯の地域資源や施設を活用した大会の開催や、サイクルスポーツ、スポーツツーリズムの拠点とするとあるが、広域連携を考えているのであれば、厚木市・秦野市・伊勢原市・愛川町・清川村の5市町村による、観光から幅広い行政分野にわたり協調する「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」も視野に入れるべきである。 さらに、渋沢丘陵利活用方針にも記載されているように、厚木秦野道路の整備も視野に入れた構想にしている節は見受けられるが、それらとの関連性についてどのように考えるか示してほしい。	A	サイクルスポーツ・スポーツツーリズムの取組みについては、広域での取組みが必要であり、神奈川県等と連携を図る考えです。 また、厚木秦野道路との関連性については、P1、「2渋沢丘陵一帯のエリア」に以下の文を追記します。 「さらに、国道246号バイパスの(仮称)渋沢IC整備予定地もあり、将来的にはアクセス性の向上も見込まれるエリアです。」
4	5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	本ビレッジは、スポーツ施設としての活用以外に災害時の活用場所(緊急ヘリの離着陸箇所、広域的な緊急車両中継点、広域災害本部設置仮箇所、周辺住民避難場所など)や地域振興箇所など、多岐にわたる活用拠点を考えているのか、今の考えを示してほしい。	C	可能な範囲で、さまざまな活用を図ることを視野に入れています。
5	5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能	市民がどの程度利用できるのか。ベルマーレがすべてに優先するのであれば賛成できない。	C	公民連携事業として、民間事業者側の負担で整備を行いますので、民間事業者側にもメリットを与える形で事業を進めていく必要があります。 現時点でのベルマーレ側の使用希望としてはユース以下のチームの練習拠点として平日の夜間の使用を希望されています。 ベルマーレの練習で定期使用する際も、利用料はいただく形となりますので、安定した施設運営にもつながると考えています。 また、ベルマーレによるサッカー教室など、特色ある事業も検討しており、これらも踏まえ、今後、施設の機能等を調整していきます。

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
6	6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	スポーツツーリズムとしての拠点として、どの程度のレベルの施設及び設備とするのか明確にされたい。 (どの程度の規模の大会で使用できるレベルか、夜間照明はあるのか、宿泊施設はあるのか、温浴施設はあるのか等)。	C	施設・設備については、順次、検討・調整を行います。
7	6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	国道246号バイパス及び(仮称)渋沢IC等が整備される前提で記載されているが、はだのスポーツビレッジの整備予定時期と合致するのかわ確認できるようにするため、双方の予定を明示されたい。	D	国道246号バイパスについては、事業化がされていない状況であり、整備時期は明らかとなっていません。国の動向を注視していきます。
8	6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	18ホール以上設置することが、最優先である。市民の意見や関係団体の声もよく聴いて、対応すべきである。現計画の9ホールのみ設置の場合、スタート前の待ち時間が長くなることやホール途中で詰まってしまうなど、利用者から、倦厭されてしまうことが懸念される。 また、最低18ホール以上設置しないと大会を開催できないので、18ホール以上設置すべきと考えます。 さらに敷地に余裕がないのであれば、拙速に決めるのではなくバイオアッセイ研究センター跡地利用も考えるべき。 この計画には2年間費やしているようだが、その間何も相談がなかったことが非常に残念です。	C	パークゴルフ人口は減少傾向にあり、気軽に世代を超えて楽しめるスポーツとして、また、ゴルフの入門的なスポーツとして、子どもやファミリーに向けた普及が必要と考えています。本格的なコースではなく、コンパクトなコースで、子どもやファミリーが楽しめる、普及をターゲットとした施設としたいと考えています。 バイオアッセイ跡地を含む渋沢丘陵の土地利用については、本市の総合計画や都市マスタープラン、渋沢丘陵利活用方針等に基づき、国道246号バイパスの整備を見据えた中で、引き続き国や関係機関等との連携、調整も踏まえ検討していきます。 また、これまでは農地転用の可能性等について関係行政機関と調整を行っており、未成熟な内容でもあったため、議会に相談ができる状況ではなかったことを御理解ください。

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
9	6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	ビーチバレーコートを整備する砂の搬入や維持管理に手間がかかることが懸念される。 また、この場所に設置は似合わないし、多くの市民から設置希望の声がなければ、設置する必要はない。今のところ市民要望はないと感じる。	C	ビーチバレー専用施設ではなく、「サンドコート」としての整備を検討します。サンドコートとは、ビーチバレーだけではなく、ビーチサッカー、バドミントン、ビーチフラッグなどさまざまなサンドスポーツが楽しめるコートのことです。 また、広い砂場として子どもも楽しめる形での開放も検討しており、子ども、ファミリーがサンドスポーツを体験したり、裸足になって砂の感触を楽しめる場としていきたいと考えています。 渋谷区も都心でサンドコートを整備しており、注目されています。使用する砂については、東京2020大会のビーチバレーで使用されたものをベルマーレ側で確保しており、世界最高峰の砂でサンドスポーツや砂遊びを楽しめる施設としていく考えです。
10	6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ	はだのスポーツビレッジ構想では、パークゴルフエリアに9ホールを予定しているが、公益社団法人日本パークゴルフ協会の定めるパークゴルフ規則ではコースを次のように定めている。 【コース】 9ホール単位に構成された区域をいう。18ホールのコースレイアウトは、9ホールごとになっていて、A-1～9、B-1～9と標示する。 コースの標準打数は33で、18ホールでは66となる。一つのホールは、フェアウェイ、ラフ、グリーン(フェアウェイ、ラフ、グリーンの区分を設けなくてもよい)から構成されている。このほかハザード(バンカー、ウォーターハザード)やOBゾーンなどがある。(「パークゴルフコース設置基準」参照) 【正規のラウンド】 18ホール以上のホール数をプレーすることをいう。(1ラウンドは18ホールとする) 以上を鑑みると、正規のラウンドは、18ホール以上のホール数をプレーすることが必要であるため、物理的に9ホールしか設置できないのであれば、中途半端な感がぬぐえず、設置を見送ることも選択肢の一つであると思われる。 競技会を視野に入れたり、芝生の養生等を考慮したりした場合、最低でも18ホールもしくは36ホールの広さが望ましい。実際、こうした面積を確保できないような区域でしたら、この「構想案」にはパークゴルフエリアを設定すべきではないと考えるがどうか。	C	パークゴルフ人口は減少傾向にあり、気軽に世代を超えて楽しめるスポーツとして、また、ゴルフの入門的なスポーツとして、子どもやファミリーに向けた普及が必要と考えています。 本格的なコースではなく、コンパクトなコースで、子どもやファミリーが楽しめる、普及をターゲットとした施設としたいと考えています。 大会については、既に近隣自治体に大きな施設もありますので、本市では、普及をターゲットとした上で、近隣施設との連携を図っていきたいと考えています。
11	7 農業振興地域の整備に関する法律上の課題の整理	グラウンド等の整備は見込めても、利用者が必要とする付帯設備の設置が認められるのかどうか。	B	一定の制限はありますが、必要と認められる施設は整備できるよう調整を行います。

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
12	8 はだのスポーツビレッジの事業フレーム	計画地へのアプローチについて、例えば道路を含め交通事情にかなり難があり、グラウンド等だけ作っても利用率は見込めないと考える。それとも十分なコストパフォーマンスは計算されているのか。計算されているのであれば、それを「事業フレーム」として市民に示すべきと考えるがどうか。	C	イニシャルコスト、ランニングコストともに民間負担となっており、今後、施設の詳細設計などでコストが明らかになる中で、コストは算定されるものと考えています。 運営も民間事業者で行いますので、公開できる情報であるかどうかは民間事業者の判断となりますが、同様の事業を行っている市での対応も調査したいと考えています。 本市としては、今後、民間事業者と協定を締結し、良好な運営を担保していきたいと考えています。
13	その他全般	秦野市都市マスタープラン及び立地適正化計画それぞれで定める、西地区及び渋沢駅周辺地区のビジョン及び計画を深度化させたい。はだのスポーツビレッジ構想(案)について検討されたい。	C	秦野市都市マスタープラン及び立地適正化計画の関連部署とは情報共有を行います。 また、本構想は公民連携事業であり、民間側の意向も踏まえ事業を進める必要もあります。
14	その他全般	施設ができることによる近隣交通への影響等について、今後の計画で明確にされたい。なお、周辺道路における交通流動を改善できるよう周辺道路の整備等をあわせて計画されたい(特に渋沢駅方面への交通)。	C	近隣に国道246号バイパスの計画があるため、この整備に併せ、検討される必要があると考えています。
15	その他全般	1ページに記載されている通り、渋沢丘陵周辺はアップダウンが多くサイクリスポートには適した地域で、中井町などの広域的な考えを持っている事については良いと思うが、そもそも秦野市に自転車活用推進計画がない。自転車などのサイクリスポートを考えると、必然的に自転車通行帯の整備や交通ルール・マナー啓発等、自転車の利用環境向上に関する施策を推進していかなければならないが、その指針となる計画がない。 自転車を活用した観光やスポーツの振興や自転車を活用した健康づくりなどを進める為に、近隣自治体では既に計画を整備している。 行政の仕組みは分からないが、このような計画がある事で補助金の申請も出来るのではないか。 第11次秦野市交通安全計画では、自転車の通行空間の整備を進めるとあるが、前回の第10次秦野市交通安全計画から推移を確認したが、どこでどのように進めた実績があるのか、今後どこでどのように進める予定があるのか何も分からない為、つまり自転車の活用やそれに付随する事項について秦野市は明確なビジョンを持っていないという事になる。 秦野市では先日ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画が公表されて、そこでも自転車活用に関わる方向性が示されていたし、今回の構想整備と並行して自転車活用推進計画を整備する事で、より今後のサイクリスポートの推進に繋がると思うがどのように考えるか示してほしい。	C	いただいた御意見は、関連部署と情報共有させていただきます。

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
16	その他全般	今から約1年半前に渋沢丘陵利活用方針が策定されたものの、それから渋沢丘陵の利活用に関わる実行がないから、本構想案の1ページの2行目にあるように、様々な地域資源があるにも関わらず、エリアのポテンシャルが発揮されていない状況になっていると、渋沢丘陵利活用方針が形だけの物になっている自明して、自分達で自分達の首を絞める結果になっている、この事実を反省すべきである。 まずは、改めて、渋沢丘陵利活用方針に基づいた実行状況がどうなっているか市民に公表すべきであると思うが、どのように考えるか示してほしい。	E	いただいた御意見は渋沢丘陵利活用方針の関連部署に情報提供いたします。
17	その他全般	本構想は渋沢丘陵利活用方針に基づいたものになっているのか、それとも別個のものなのか、紐付き具合がよく分からない。本構想の位置付けについて、示してほしい。	A	いただいた御意見を踏まえ、P2に「はだのスポーツビレッジ構想の位置付け」を記載し、渋沢丘陵利活用方針との関連性を示します。
18	その他全般	今回の構想が示される事に伴って、渋沢丘陵利活用方針にもその内容を記載すべきだと思うが、その予定の有無とその理由を示してほしい。	E	P2に「はだのスポーツビレッジ構想の位置付け」を記載しますので、渋沢丘陵利活用方針については、現行のとおりで問題ないと考えています。
19	その他全般	本構想の実現に関する、具体的な時間的考慮を示してほしい。詳細は示せずともいつまでの整備予定か、その考えを示してほしい。秦野駅北口周辺まちづくりビジョン案のロードマップを参考にすべき。	C	はだのスポーツビレッジの整備想定スケジュールについては、今後策定する「はだのスポーツビレッジ計画」において示す予定です。
20	その他全般	「渋沢丘陵一帯は、本市、中井町、大井町及び松田町の1市3町の境界にある丘陵地域」として、これまで、幾度となく1市3町で広域連携をはじめ道路網などについて協議がなされているが、この構想は市単独なのか。または連携がなされる案件なのか。 連携がなされた場合、どのような取り組みになるのか。	E	現時点では、施設が本市にあることから市単独の構想ですが、今後、施設の機能等を調整していく中で、隣接自治体にも情報共有を図っていきます。 隣接自治体に存する施設と連携した大会の開催や、渋沢丘陵一帯の地形を活用したサイクルスポーツ、スポーツツーリズムの取り組みなどを想定しています。
21	その他全般	公民連携は望ましいことであるが、近隣のバイオアッセイが撤退する中、そちらの土地利用は、どのように考えているのか。 バイオアッセイの土地利用を含め構想を練り上げるべきではと考える。	E	バイオアッセイ跡地を含む渋沢丘陵の土地利用については、本市の総合計画や都市マスタープラン、渋沢丘陵利活用方針等に基づき、国道246号バイパスの整備を見据えた中で、引き続き国や関係機関等との連携、調整も踏まえ検討していきます。 本事業は民間との連携事業でもあり、関係行政機関との調整・交渉も必要であることから、機を逸すると事業自体が立ち消えになる可能性もあります。 まずは現状の条件の中での施設整備を最優先にしたいと考えています。

「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
22	その他全般	議員の皆様からのご意見を踏まえまして引き続き宜しくお願いたします。	E	さまざまな意見を参考にさせていただきます。一方、「公民連携事業」や農地での整備という特殊性もありますので、通常の公共事業とは異なる点もあるということも御理解いただきますようお願いいたします。